

『北海道クルーズ・旅客船メールマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 情報：乗って遊覧船スタンプラリー2018抽選会を実施！
～今年もたくさんのご応募をいただき
ありがとうございました～
2. 情報：今年は「飛鳥 世界一周クルーズ」がグランプリ
～クルーズ・オブ・ザ・イヤー2018～
3. 情報：日本から出国すると一人1,000円の税金がかかります
～1月7日から「国際観光旅客税」導入～
4. 稚内：中学生がフェリーの役割や船員の仕事を学ぶ
～宗谷中学校で出前講座実施～
5. 全道：年末年始の輸送安全総点検を実施中！（海上輸送）
～事故・災害防止、テロ対策、
新型インフルエンザ対策の徹底を～
6. 情報：「クルーズなんでも屋」vol.45！
～アイドル船上劇場「STU48号」って？～
7. 事務局からのお知らせ

1. 情報：乗って遊覧船スタンプラリー2018抽選会を実施！
～今年もたくさんのご応募をいただき
ありがとうございました～

「北海道における船旅促進連携懇談会」（事務局：北海道運輸局、北海道旅客船協会）では、北海道において重要な観光資源となっている遊覧船事業の認知度を高め、利用客を増やすことを目的として、2014年度から『「乗って遊覧船」北海道スタンプラリー』を実施しています。

このスタンプラリーは、対象期間中に北海道旅客船協会に加盟している全道各地の観光遊覧船事業者やフェリー事業者が運航する船舶に乗船し、スタンプを2個以上集めて応募された方に抽選で豪華賞品をプレゼントするもので、今年度は遊覧船等24航路、離島等3航路、青函ルート2航路の計29航路が参加いたしました。

4月28日～10月31日の実施期間中に相次いで北海道へ上陸した台風や北海道胆振東部地震の影響が心配されましたが、過去最高の応募数であった昨年と同程度のたくさんの応募をいただきました。

今年度のスタンプラリーは終了してしまいましたが、北海道のこれからの季節はオホーツク海での「流氷クルーズ」が始まります。真っ白く海上を埋め尽くす流氷の中を船で進んでいく迫力の光景や流氷の上に乗るオジロワシやアザラシなどを見ることができますので、ぜひ一度乗船してみたいはいかがでしょうか。

抽選会の様子については、当協議会ホームページに掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

2. 情 報：今年は「飛鳥 世界一周クルーズ」がグランプリ ～クルーズ・オブ・ザ・イヤー2018～

一般社団法人 日本外航客船協会では、旅行業界の健全な発展に寄与したクルーズ旅行商品、特にオリジナリティーに溢れ、かつ、わが国のクルーズマーケットの拡大に貢献した商品を企画・作成、実施した旅行会社等を顕彰するために、今年で第11回目となる「クルーズ・オブ・ザ・イヤー 2018」を実施いたしました。

今年の授賞式は12月13日（木）に都内で行われ、応募、推薦のあったクルーズ商品等17点の中から、郵船クルーズ株式会社が実施した「飛鳥 2018 年世界一周クルーズ」がグランプリに輝きました。

本クルーズは2015年以来、3年ぶりの再開となった北半球周遊型の世界一周クルーズは、不安定な国際情勢や3年の休止期間による市場ニーズの不確定要素を乗り越え、一周コース乗客で完売し、さらに同船に初めて乗船する乗客が約3割に達するなど、わが国における「世界一周クルーズ」の存在意義を明確に証明したことがグランプリに値するとともに、記念すべき第1回国土交通大臣賞に相応しいとして、高く評価されたものです。

グランプリ（国土交通大臣賞）の他にも優秀賞4点、特別賞3点が選考され、各受賞者へ記念のトロフィーが授与されました。

グランプリ以外の各賞の授賞結果は下記からご覧下さい。

○各賞の授賞結果（日本外航客船協会ホームページ）

http://www.jopa.or.jp/of_theyear/of_theyear2018-2.html

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部
mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

3. 情 報：日本から出国すると一人1,000円の税金がかかります ～1月7日から「国際観光旅客税」導入～

平成30年4月11日に国際観光旅客税法が成立し、独立した国税としては27年振りとなる新税として、国際観光旅客税が平成31年1月7日より導入されることになりました。

この税は、出国する旅客に対し出国1回につき1,000円の負担を求め、航空機のみならず、クルーズ船や国際旅客航路で出国する場合にも適用されます。

旅行者にとっては旅行費用の増加となってしまいますが、国際観光旅客税の税収は「ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備」「日本の多様な魅力に関する情報の入手の容易化」「地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等」の3つの分野に活用されることとされており、観光の発展ひいては日本経済の発展に活かされることとなります。

なお、平成31年1月7日以降の出国について課税されることとなりますが、平成31年1月7日より前に締結された契約による出国について

ては、1月7日以降の出国でも課税されないとのことです。海外への旅行を計画されている方は1月6日までに契約すると少しお安く旅行ができますよ。

国際観光旅客税の詳細については下記のホームページおよびリーフレットをご覧ください。

○国際観光旅客税について（国税庁ホームページ）

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/kansetsu/kanko/index.htm>

○日本語版リーフレット（国税庁ホームページ）

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/kansetsu/kanko/pdf/03.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

4. 稚 内：中学生がフェリーの役割や船員の仕事を学ぶ ～宗谷中学校で出前講座実施～

稚内市は、利尻島・礼文島との交通の拠点であり、海事産業と深い関わりがあることから、前月の稚内南中学校に続き、宗谷中学校においても、ハートランドフェリー株式会社の協力により、生徒に海上輸送の現状やフェリーの役割、そこで働く船員の仕事について学んでもらうための出前講座（海事講座及び船内見学会）を、稚内市内の中学校が実施している土曜授業との連携により、平成30年12月1日（土）に実施しました。

船内見学ではブリッジ（船橋）、機関室、船員居住区などの普段立ち入ることのできないエリアを見学するとともに、そこで働く船員から各種設備や仕事内容についての説明を受けました。また、海事講座では、海上輸送の現状やフェリーの役割、船員の仕事について学びました。

生徒からは「普段見ることのできないところを見学できて勉強になった」「知らないことが勉強できて楽しかった」などの感想を頂きました。また、学校からは「本当に貴重な機会を頂き感謝している。より広い視野で海の仕事をすることができたのが大きな収穫だった」というコメントを頂きました。

旭川運輸支局は今後も教育機関と連携し、それぞれの地域に合ったテーマでこのような取組みを継続してまいります。

出前講座の実施概要については、北海道運輸局のホームページをご覧ください。

○若年内航船員確保推進事業（海事海洋教育）のページ

http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/seninkakuho/301201_wakkanai3.pdf

<問い合わせ>

北海道運輸局旭川運輸支局（稚内庁舎）永井、菊池

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

5. 全 道：年末年始の輸送安全総点検を実施中！（海上輸送）

～事故・災害防止、テロ対策、
新型インフルエンザ対策の徹底を～

国土交通省では、多客繁忙期である年末年始に、輸送機関等事業者が安全対策の実施状況を自主点検することにより、公共交通の安全を図る

とともに、事業者自らの安全意識を高めることを目的とする「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施しています。

平成30年12月10日から平成31年1月10日を点検実施期間として各事業者が経営トップを含む幹部の強いリーダーシップの下、自主点検を実施することとしております。北海道運輸局ではその取組状況を確認するため、全道でフェリーや遊覧船などの船舶25隻、ターミナル11か所への立入点検を実施します。

<海上輸送モードの重点点検事項>

1. 法令及び安全管理規程（特に運航基準、乗組員の健康状態及び過労状態の把握）の確実な遵守状況
2. 安全に関する設備の確実な備付け及び旅客・乗組員・貨物に関する安全対策の実施状況（特に火災対策（消火器等の点検、避難誘導訓練の実施）、荒天時の体制の準備状況（適切な情報収集体制、適切な当直体制）
3. テロ防止のための警戒体制の整備状況や乗客等の安心確保のための取組、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
4. 新型インフルエンザ対策の実施状況
5. 自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況

北海道運輸局プレスリリースはこちらをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/201812/20181205.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海上安全環境部

海事保安・事故対策調整官 橋本

mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp

6. 情報：「クルーズなんでも屋」vol.45！ ～アイドル船上劇場「STU48号」って？～

今回は、国土交通省が推進する「C to Seaプロジェクト」のアンバサダーであるSTU48（ 1 ）が瀬戸内7県の港を巡り公演を行う、船上劇場「STU48号」を紹介します。（ 2 ）

この「STU48号」は、既存のフェリー船を改造して劇場船へ生まれ変わらせるといふものであり前例がありません。現在、改造工事が尾道市因島において行われ、11月10日には劇場部分の一部となる上部構造体の搭載が行われました。

その工事の様子は、C to Seaプロジェクト（ 3 ）のポータルサイトで紹介されています。普段、海や船に関係がない一般の方にとっても、この「船上劇場」は「おっ！」と思われるのではないのでしょうか。

今後、ポータルサイトではこの「STU48号」が完成していくプロセスをわかりやすく情報発信していくとのことです。是非ご覧ください。
なお、「STU48号」の完成予定は2019年春とのことです。

- 1 STU48：「瀬戸内 SeToUchi 」エリアを本拠地とし「1つの海、7県」を股にかけるA K Bグループ初の広域アイドルグループ。
- 2 「劇場専用船「STU48号」2019年春誕生！」
<https://c2sea.jp/enjoy/ship/entry-140.html>
- 3 C to Seaプロジェクト：子どもや若者をはじめとして、より多くのみなさんに海や船の楽しさを知ってもらうため、マリンレジャ

一体験等の海に触れる機会の増加や、効果的な情報発信等を推進する官民一体の取組み。2017年夏、「海と日本プロジェクト」の一環として、国土交通省が旗振りでスタート。

クルーズなんでも屋は、クルーズに関する「よもやま話」を取り扱うお店です。

疑問に思ったこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。皆様から数多くの投稿をお待ちしております。

「クルーズなんでも屋」へのご投稿は、こちらまで
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

7. 事務局からのお知らせ

1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては、北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

2

購読新規登録はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

3

登録変更・解除はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_2.html

.....
北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 武部 千穂
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>
.....